

「手を動かしてまなぶ 微分積分」(第4版2刷) 正誤表  
(2026年3月2日版)

場所	誤	正
p. 12, 図 2.1	$a, b \in \mathbf{R}$	$a, b \in \mathbf{R}, a \neq 0$
p. 12, 図 2.1	$a, b, c \in \mathbf{R}$	$a, b, c \in \mathbf{R}, a \neq 0$
p. 25, 下から 7 行目	多項式関数	0 ではない多項式関数
p. 25, 下から 6 行目	$\mathbf{R}$	$\mathbf{R}, a_0 \neq 0$
p. 25, 下から 3 行目	ときは,	ときは, $a_0 = 0$ の場合も含めて,
p. 71, 上から 9 行目	$(n-1)$ 次 (2箇所)	$(n-1)$ 次以下の
p. 88, 上から 1 行目	, 定理 8.5	削除する.
p. 88, 下から 7 行目	$r > 0$	$a \in \mathbf{R}, r > 0$
p. 88, 下から 7 行目	$(-r, r)$	$(a-r, a+r)$
p. 101, 脚注 7)	定積分の場合,	削除する.
p. 112, 下から 7, 8 行目	または (2箇所)	またはある $t \in \mathbf{R}$ に対して
p. 125, 問 11.5	$11 \cdot 3$	$11 \cdot 2$
p. 125, 問 11.6	$11 \cdot 4$	$11 \cdot 3$
p. 193, 上から 1 行目	存在する	一意に存在する
p. 219, 下から 9 行目	$D$	$R$
p. 239, 下から 5 行目	$\int_a^b \cdots dx dy$	$\int_a^b \cdots dy dx$
p. 256, (24.15) 式	$i = 1$	$i = 0$
p. 265, 解 1.1	とくに, ...注意すると,	削除する.
p. 272, 解 7.4 (2)	微分可能であるとは (2箇所)	微分可能であるとは, ある $c \in \mathbf{R}$ が存在し,
p. 272, 解 7.4 (2)	$f'(a)$ (4箇所)	$c$
p. 290, 解 23.5	定理 12.5 (2)	定理 12.5

その他

- p.16, 下から 1 行目: 成り立つの後に以下の脚注 3) を追加する. (脚注 3)~脚注 5) は脚注 4)~脚注 6) となる.)  
 3) (2.16) が成り立たないと仮定すると,  $\lim_{k \rightarrow \infty} a_k = +\infty$  かつ  $\left\{ \left(1 + \frac{1}{a_k}\right)^{a_k} \right\}$  が  $e$  に収束しない数列  $\{a_k\}$  が存在し, 矛盾となる.
- p.73, 図 7.1: 下の図と差し替える.

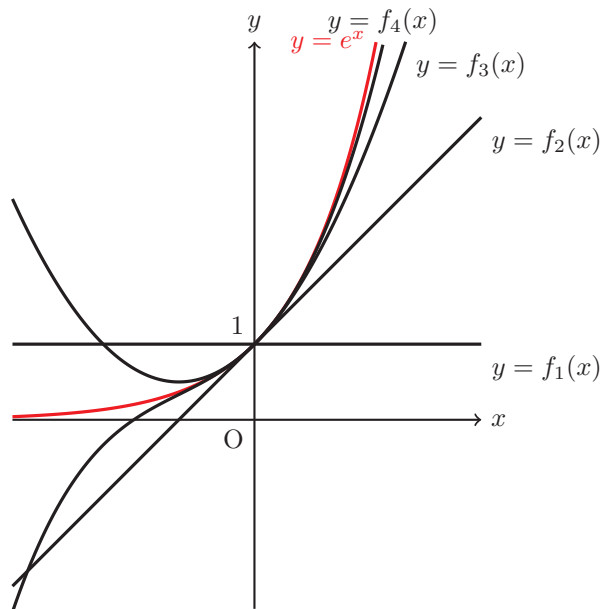


Figure 1: 図 7.1

- p.141, 図 13.3:  $y$  軸を  $x$  軸へ変更し,  $x$  軸の向きを逆にしたものを  $y$  軸へ変更する.
- p.192, 下から 6 行目: 「 $\odot$  (18.13), (18.18)」を削除し, 代わりに 「 $\rightarrow$ 」の直前に以下を追加する.  
 ((18.13), (18.18), (18.8) 第 2 式および  $f(x, y)$  は  $C^1$  級)